

新大田区基本構想を策定するにあたっての主な論点(案)

- 1 まちの魅力を活かしたまちづくりを実現するためには、どのような視点が必要か
 - 20年後の大森、蒲田他のまちの姿をどのように描くか
 - 個性あるにぎわいの視点からのまちづくり
 - 安全・安心と暮らしやすさの視点からのまちづくり
 - 水辺とみどりの視点からのまちづくり
 - 交通ネットワークという視点からのまちづくり
 - 産業・観光という視点からのまちづくり
 - 2 羽田空港を含む臨海部を、まちづくりにどう活かすか
 - 空港を活かしたまちづくり
 - 海、水辺を活かしたまちづくり
 - 国際都市としての仕掛け、魅力づくり
 - 3 日本・世界を支える大田区の産業はどうあるべきか
 - 区内高度基盤技術の継承と人材の育成・確保
 - 区内産業立地のあり方・展望
 - 商店街等の区内商業の展望・方向性
 - 4 誰もが元気でいきいき暮らせるまちとは、どのようなものか
 - 区民の健康を支えるための方策
 - 高齢者が地域で安心して暮らせるまちの姿
 - 障がい者が地域で自立して暮らせるまちの姿
 - 5 子育てしやすいまち、未来を担う子どもたちの健やかなる成長を支えるまちとは、どのようなものか
 - 子育てしやすいまち・地域の姿
 - 学校教育のめざすべき方向
 - 6 生涯にわたり学習し、地域に生きがいと居場所を持てるまちとは、どのようなものか
 - 生涯教育のめざすべき方向
 - 7 「地域力」を活かしたまちとは、どのようなものか
 - 「地域力」の定義・イメージ
 - 地域の宝（歴史・文化、自然環境、工場のまち等）を活かした魅力づくり
 - 8 地球にやさしいまちとは、どのようなものか
 - 地球温暖化対策のために区役所が果たすべき役割
 - 地球温暖化対策における区民と事業者の役割
 - 大田区がめざす「みどりのまち」と「循環のまち」のイメージ
 - 9 区役所が、区民にとって最も身近な真の自治体となるためには、どうあるべきか
 - 様々な区民の区政参画のあり方（情報伝達方法など）
 - 効率的な区役所とは
 - 区民・地域、事業者、区の役割
- 【構想を実現するための方策】**
- 構想を実現するために、どのような基本計画を策定すべきか
基本計画を策定すべきとするならば、計画内容の着実な実現を担保するための仕掛け（指標の設定、行政評価の実施など）が必要か